

令和5～6年度

帯広市立豊成小学校

校内研究1年次まとめ

研究主題

「教わる」から「学ぶ」 授業への転換

～「やってみたい」を後押しする学びのマネジメント～

目指す子ども像

- ① 「やってみたい」と
自ら進んで学ぶ子ども
- ② 社会性や自主性を身に付け、
生きる力を育む子ども

研究仮説

① 「やってみたい」と思える課題設定の工夫をすることで、
自ら進んで学ぶ子どもを育てることができるだろう。

② 学びの場の保障をすることで、安心して挑戦し、思いを
実現しようとする子どもを育てることができるだろう。

子どもの変容

主体性

やってみる、取り組む
わからないことを聞く
表現しようとする

自ら学ぶ

子ども主体の課題解決
教材・教具を活用

かかわり

助け合い、教え合い、仲良く
相手に伝える、伝え方

意欲

楽しい、できる
自己決定

教師の指導観の変容

- ポイントをしぼった授業を意識するようになった！
- 任せる、委ねるができるようになってきた！
- 教師が喋りすぎないようにしてきたし、意識している！
- 交流の場の設定をするようになった！
- 学びの時間を増やすようになった！
- 子どもの見取りが充実してきた！

	<低学年>	<中学年>	<高学年>	
仮説① 課題設定の工夫	①ゴールの見える課題設定（本時のゴール、単元全体のゴール） 段階的な単元計画、適切な条件の設定（自力解決、交流、発表の仕方など）、		①ゴール	
	②「やってみたい」と思える課題設定の工夫 低学年～日常生活と関わらせ、意欲のもてる課題	②「やってみたい」と思える課題設定の工夫 中・高学年～児童の疑問から問いを生み課題につなげる、振り返りを生かして次の問いにつなげる		②課題設定の工夫
仮説② 学びの場の保障	③児童が主体となって活動する時間の保障 低学年 20～30分	③児童が主体となって活動する時間の保障 中・高学年～30～40分		③時間の保障
	④自己決定、自己選択の場の保障 低学年～取り組む題材 など	④自己決定、自己選択の場の保障 中・高学年～取り組みたいテーマ、課題解決のための手立て（表現方法、調査方法、個人 or 集団）		④自己決定
	⑤主体的に学ぶための「アイテム」を持たせる 低学年～効果的なワークシート など	⑤主体的に学ぶための「アイテム」を持たせる 中・高学年～話し方や読み方・書き方など「学び方」の指導、段階的な単元計画		⑤アイテム
	⑥子どもたちが安心して学習に取り組める手立て 学習の見通しが明確に持てる、個々の学習状況の把握、児童主体の活動中の教師からの関わり（ヒントカードなど）、再チャレンジの機会の保障		⑥安心できる手立て	
	⑦意見の共有、個→全体へ収束させる手立て 低学年～挙手での発表、交流の経験を積む	⑦意見の共有、個→全体へ収束させる手立て 中・高学年～全体交流の進行（指名計画）、小集団交流の目的の明確化		⑦共有

※特別支援ブロックは、各児童や学級の実態に応じて取組の段階を適宜選択する。

教師としての意識改革

子どもの学びを
待つ、見守る



(子どもの前ではなく)
横・後ろに立つ



授業のイメージ

主体的な学び

- ① 児童が学ぶ時間の保障（30～40分）
- ② 児童の「やってみたい」に寄り添う指導
- ③ 児童の思考の流れに沿う授業

授業づくり

①児童に「学ぶアイテム」をもたせる

例：発表の仕方、交流、比較など、視点をもった聞き方、興味別グループ分け、役割分担、振り返りの活用、まとめ方…

②教師発信の部分のスリム化をはかる

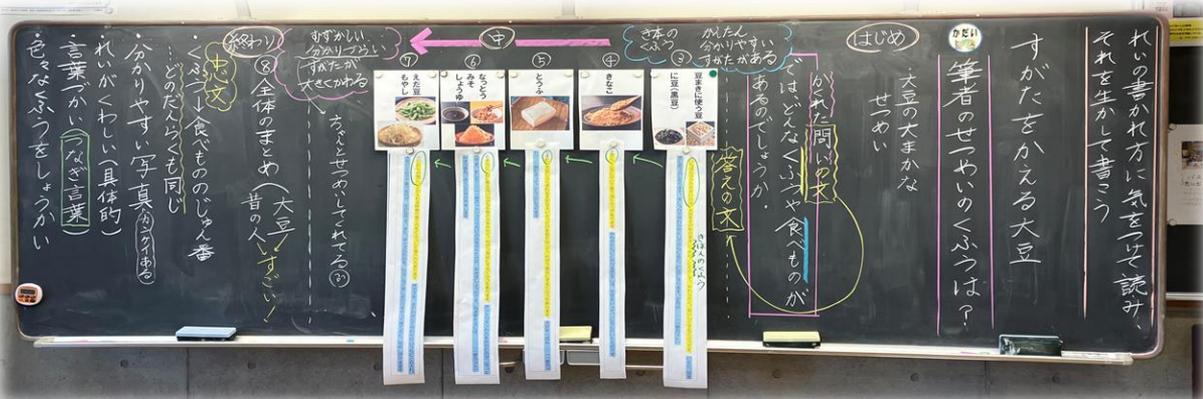
プレ研で、児童の反応や思考の流れを確かめ、学習内容や指示をそぎ落とす。

「学ぶ」授業 & 「教わる」授業

- 研究主題にそった授業は、1単元に1、2時間。
- 「習得」も必要。
できるまでじっくり練習を重ねる授業も行う。

各教科、活動の
おさえ

国語



〈授業のポイント、留意点など〉

- ・ 単元前半の説明文の学習において、**指導事項を確実に指導する手立て**が重要。（例：問題解決型の単元計画の作成、アニメーションゲームなどの言語活動の工夫）

- ・ ICTツールの効果的な活用
→ Google jamboard上で組み立て表を作成することで、①順序の入れ替えなど**試行錯誤**がしやすい、②クラウド管理により各々のタイミングで**他者参照**ができる、などの利点がある



たんじゆん、かんたん、分かりやすい	麦 おいしく食べるくふう	食品
↓ みくどづつ、むずかしい、手順がわかる	麦をいり、そしてふくろにつめて飲む、美味しくするくふう。	麦茶
	発酵させて、ふくらませてやく、おいしくするくふう	パン
	こなをまぜてやく、おいしくするくふう。	カステラ
	こなをこねてぼうにまきやく、おいしくするくふう	ふ
	こうじ菌のちからをかりて、おいしくするくふう	麦みそ

国語

例2：児童主体の活動時間が多い、「書く」単元の学習



六年生：具体的な事実や考えをもとに、
提案する文章を書こう

- ・ 単元名「わたしたちにできること」
…環境や学校生活をよりよくするために、
自分たちができることを提案する文章
を書く学習。
- ・ グループでの話し合いや、付箋を使った
構成案作りなどの活動がある。

国語



わかりやすく 説得力のある提案

こんな流れて提案すると、伝わりやすいです。

1 提案のきっかけ

きっかけとなった経験

- 例
- ・新聞で〜と書いてあるのを読んだ。
 - ・ニュースで〜と言っているのを聞いた。
 - ・〜により困っている人を見かけた。
 - ・こんな経験をした。

現状や問題点

- 例
- ・実際に豊成小学校では、〜なことがある。
 - ・〜に聞いたところ、〜という現状があるようだ。
 - ・アンケートをとったところ、〜と感じている人が多かった。
 - ・その原因は〜だと考えられる。

2 提案

提案すること

- 例
- ・〜のために、〜を提案する。

具体的な内容

- 例
- ・例えば〜。
 - ・具体的には〜。

提案が実現した時の効果

- 例
- ・〜によって、〜することができる。
 - ・そうすることで、〜になると考える。

3 まとめ



〈授業のポイント、留意点など〉

- ・自由度の高い課題なので、児童が主体的にアイデアを出したり議論したりすることができる。
- ・単元の6時間目に中間報告会を設定することで、児童主体で進捗しつつも指導事項に則っているかどうかチェックする場としている。
- ・ポスターやスライドなど、発表物の形も児童が選べることで、より主体性を高めることができる。

国語

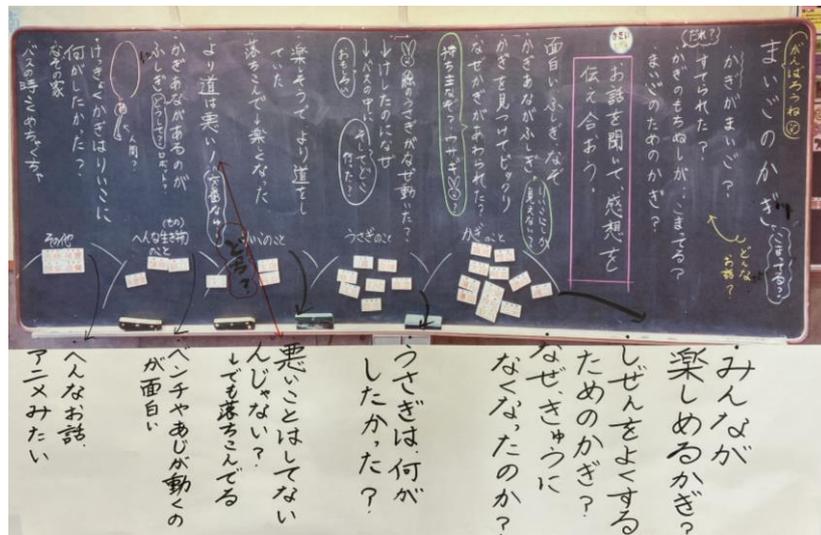
例3：発展的に「読む」学習



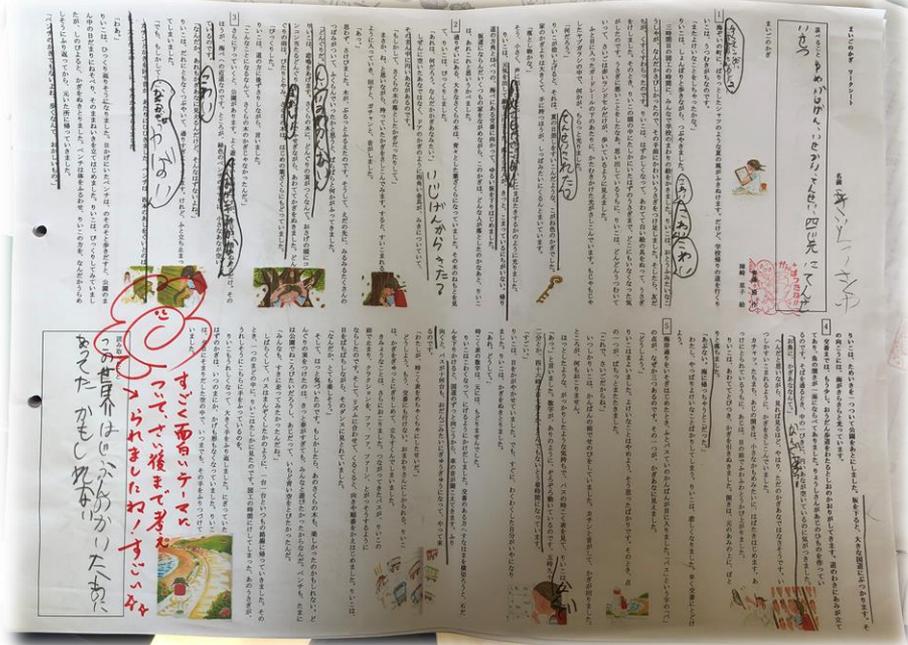
三年生：登場人物のへんかに気をつけて読み、感想を書こう

- ・物語文「まいごのかぎ」を扱う単元。
- ・単元前半で学んだ「筆者の説明の工夫」を生かし文章を書く。既習事項を活用しながら、自力解決の時間の多くを見童に委ねる。

国語

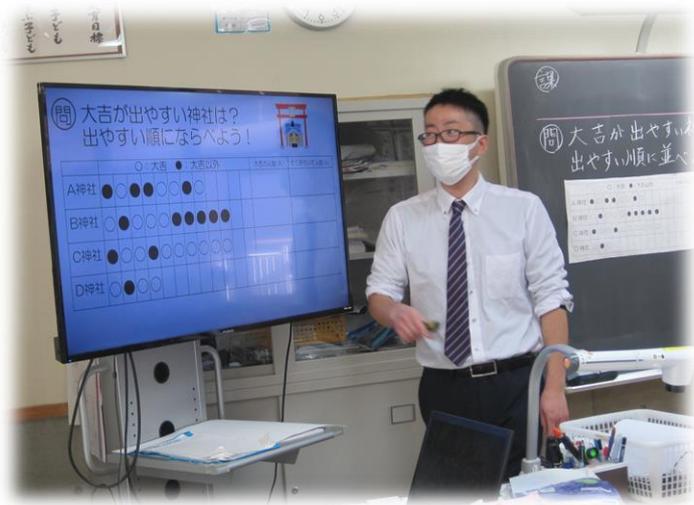


- 〈授業のポイント、留意点など〉
- ・自力で読み取るためのアイテム…「**全文シート**」
 - ・多様な考えを出せる**発展的な学習**を単元に追加する
 - ・行動と気持ちを見つけ傍線を引いたり、心情曲線で人物の変容を表現したりするなど、**物語の読み取り**に必要な手立てを段階的に指導する



算数科

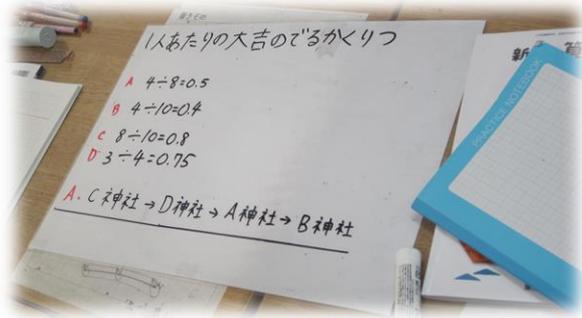
例Ⅰ：単元の導入で自分の考えや方法を表現する学習



5年生：比べ方を考えよう（2）

- ・ 2つの数量の関係について、割谷や百分率を用いて表す単位。
- ・ 単元の導入で比べ方を考える場面で、課題の設定や自力解決の時間を児童に委ねる。

算数科

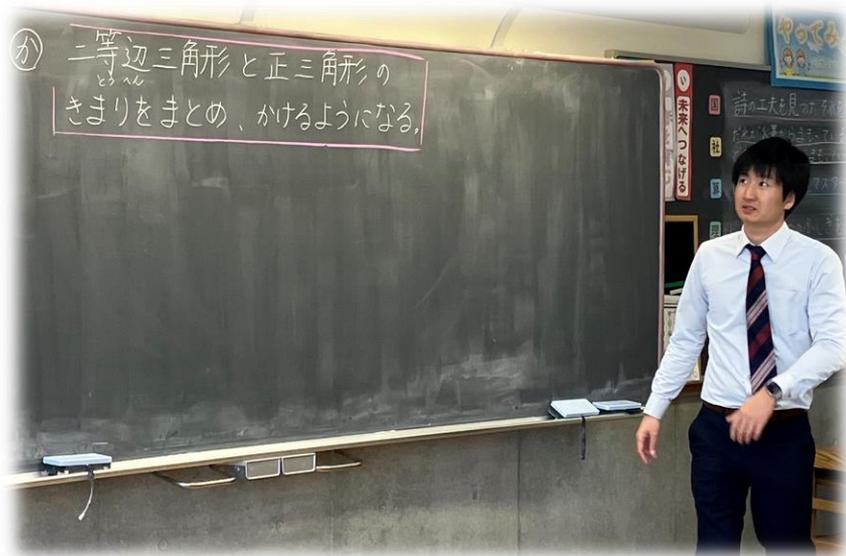


〈授業のポイント、留意点など〉

- ・ 学習形態（個人、ペア、グループ）や学習のアイテム（ノート、タブレット、具体物、ワークシートなど）を見童が選択できるようにする。
- ・ 低位の見童が問題を解決する見通しを持たせるための手立てが必要。（ヒントコーナーや友達との交流）
- ・ 全体交流で、答えの意味など重要なポイントを全体で共有する。

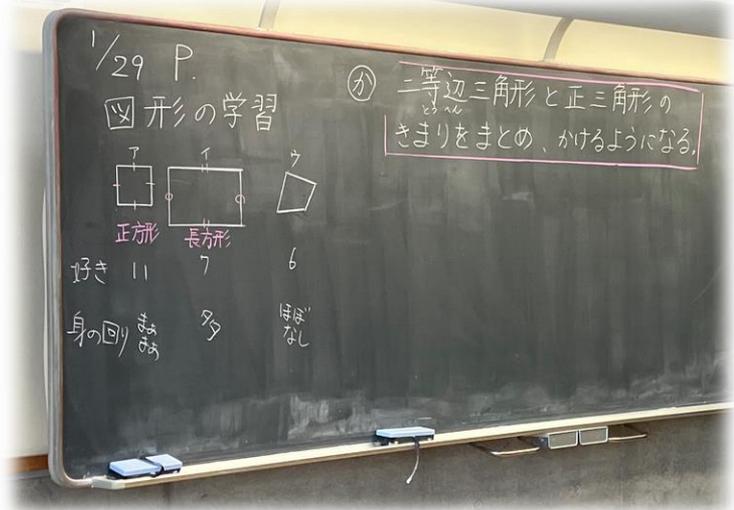
算数科

例2：数時間を貫いた課題を設定し学びを進める学習。

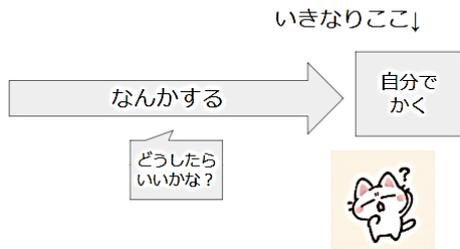


3年生：三角形を調べよう

- ・二等辺三角形や正三角形の性質を調べたり作図の仕方を学ぶ単元。
- ・単元の最初3時間で課題を達成できるように計画を作成。児童自身が見通しをもちながら学習を進める。



今回の「三角形と角」のべん強は...



〈授業のポイント、留意点など〉

- ・単元の目標や学び方などを児童と共有し、見通しをもちながら柔軟に学びを進める。
- ・ノートに書くことを指示するなど、交通整備が必要。
- ・児童間で、できたことやわかったことを共有したり、助言を求めたりすることで学びを深める。

理科

「学ぶ」場の設定

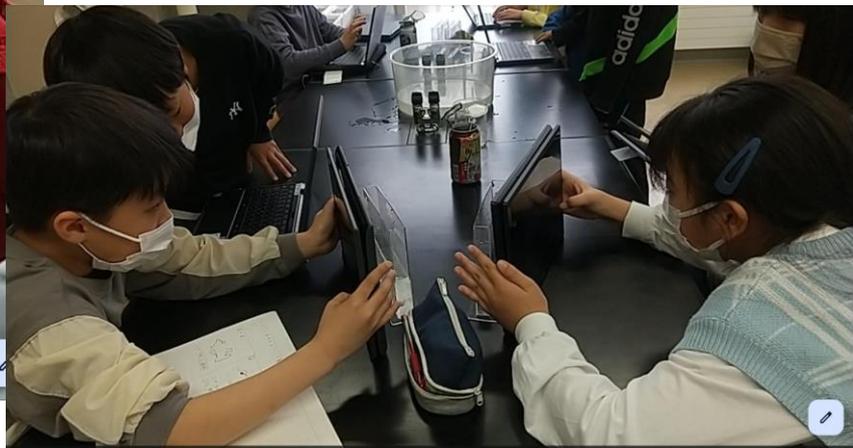
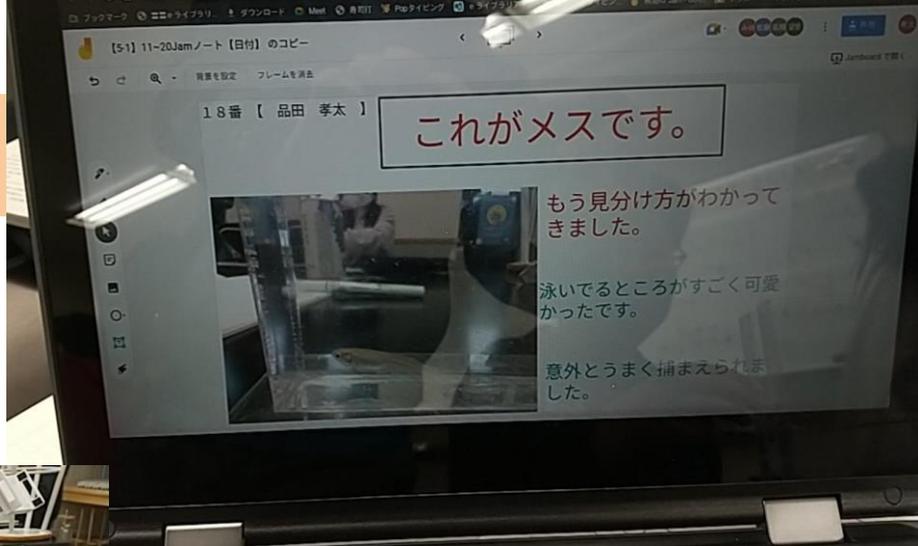
- ①単元の導入
- ②実験の条件に選択肢がある場面

①単元導入の工夫

児童が興味を持つ導入

メダカのたまごの育ちについて調べよう

→メダカをすくって観察しよう



初めて扱うものに興味

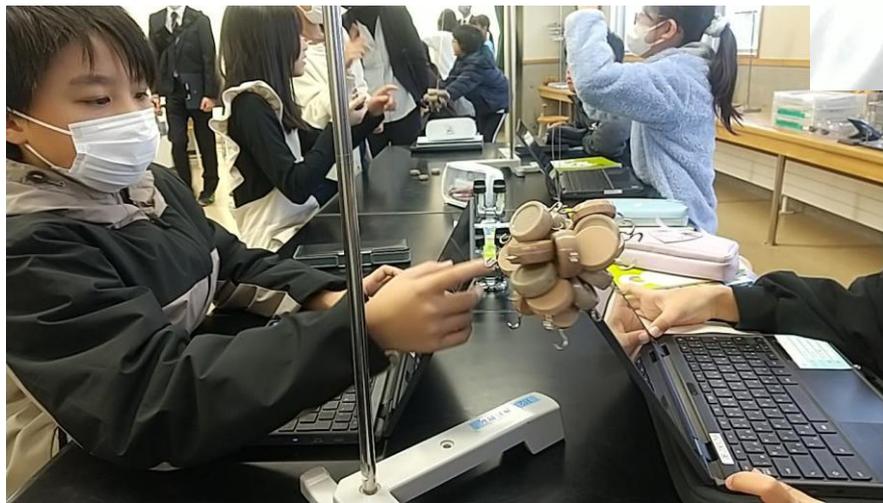
アブラナの花が咲いた後、
実はどこにできるのだろうか
→ナズナを観察して、その
つくりを調べよう



②実験における選択場面

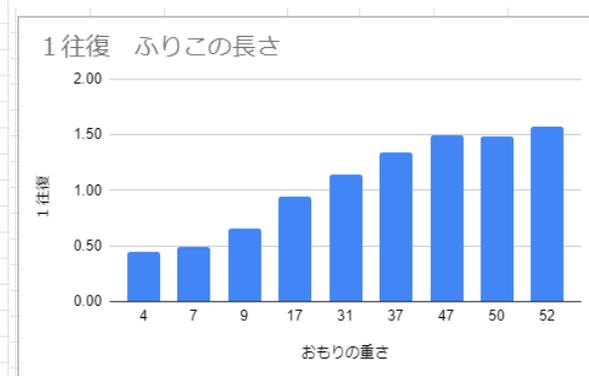
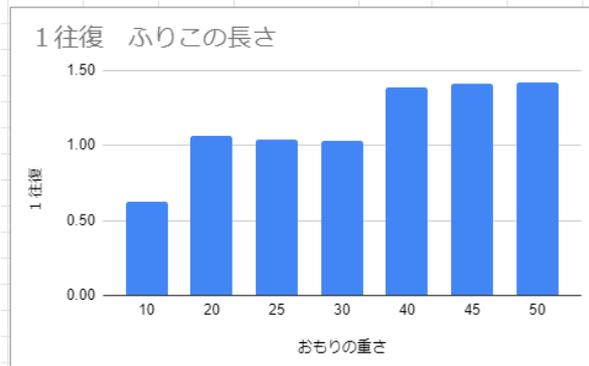
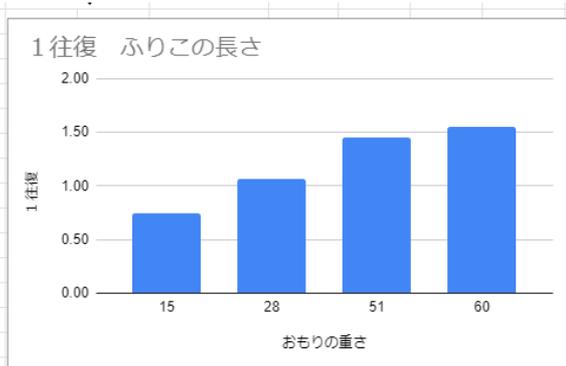
重さ・長さ・ふれはばのどれを変えると？

- ・ 児童の興味に基づいてグループ分け
- ・ 事前に計画を立てる
- ・ 予想を立てる



長さ・重さ等も自分たちで設定

決められた値でない方が般化しやすい



ふり返りの「わかめ」をどうぞ！

氏名	ふり返り
神田 実咲	振り子の長さは短くするほど、一往復の時間が短くなったことがわかりました。予想と同じだったので嬉しいです。
森田 すず	振り子の長さが短くなると、時間が短くなることがわかりました。

ふり返りの「わかめ」をどうぞ！

ふり返り	
大輔	特に「紐の長さ」が変わると大きく結果が変わるんだということが
かずま	紐の長さを変えると一往復の時間が変わることがわかった



とかすもの



データを多く取りたい場合は
ルーレットで



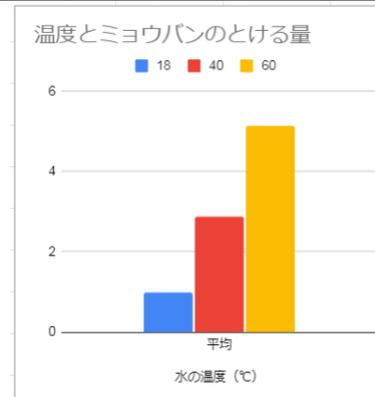
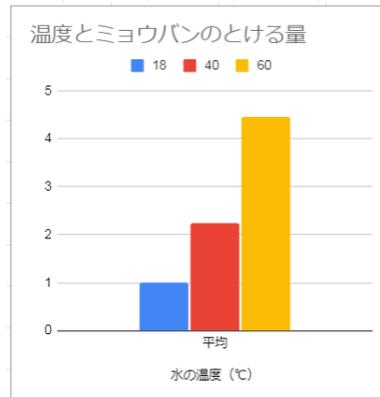
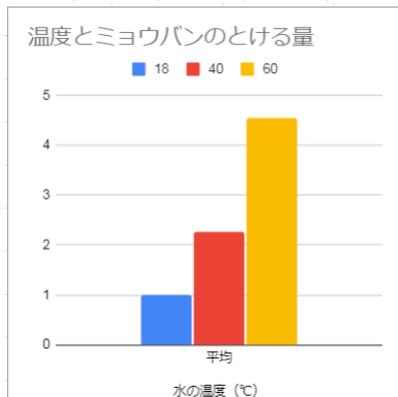
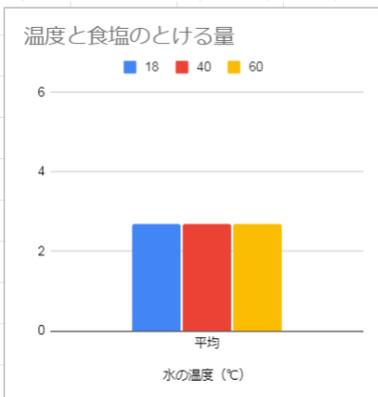
データが多いので児童が理解・納得しやすい

水の温度と「食塩」		1組		
水の温度 (°C)	18	40	60	
平均	2.7	2.7	2.7	
とけた数はい	1はん	2.7	2.7	2.7
	2はん	2.7	2.7	2.7
	3はん	2.7	2.7	2.7
	4はん	2.7	2.7	2.7
	5はん	2.7	2.7	2.7
	6はん	2.7	2.7	2.7
	7はん	2.7	2.7	2.7
	8はん	2.7	2.7	2.7
	9はん	2.7	2.7	2.7
	10はん	2.7	2.7	2.7

水の温度と「ミョウバン」		1組		
水の温度	18	40	60	
平均	1.2	2.26666	4.54444	
とけた数はい	1はん	1	1	3
	2はん	1	2.1	3.7
	3はん	1	2	4
	4はん	1	3	5
	5はん	1	3	2.5
	6はん	1	3.1	4.7
	7はん	1	3.2	5
	8はん	1		
	9はん	1	2	3
	10はん	1	1	10

水の温度と「ミョウバン」		2組		
水の温度	18	40	60	
平均	1	2.25	4.46	
とけた数はい	1はん	1	2	4
	2はん	1	2.3	5.6
	3はん	1	3	5
	4はん	1	1.5	3.5
	5はん	1	3	6
	6はん	1	2	4.5
	7はん	1	1	3
	8はん	1	2	3
	9はん	1	2.7	5
	10はん	1	3	5

水の温度と「ミョウバン」		3組		
水の温度	18	40	60	
平均	1.2	2.86666	5.1375	
とけた数はい	1はん	1	2.7	6
	2はん	1	3	6
	3はん	1		5.5
	4はん	1		
	5はん	1	2.5	6
	6はん	1		6
	7はん	1	4	5.3
	8はん	1	3.5	5.5
	9はん	1		
	10はん	1	1.5	0.8



特別支援学級

自立活動

①めあてや活動の工夫

相手意識をもたせる

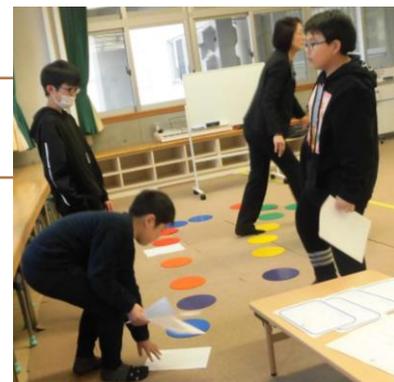
学級	克服したい事	めあて
カモカモ学級3・4年	班で話し合って意見をまとめる	1年生をカモカモつりぼりにしようたいしよう
Step up学級5・6年	自分の意見が言えるように	クリスマス会をしよう



①めあてや活動の工夫

苦手意識があるものを興味のある活動へ

学級	克服したい事	めあて
カモカモ学級1・2年	ルールを守る	魚つりゲームをしよう
カモカモ学級5・6年	困ったことがあっても対応できるように	スキルアップすごろくを作ろう
ほのぼの学級	意思表示ができるように	おべんとうをつくろう
Step up学級2年	字が書けるように	カレンダーを作ろう



②児童に委ねる活動

自己決定



好きなものを選ぶ。

話し合っ**て**自分
たちで**内容**を決
める。



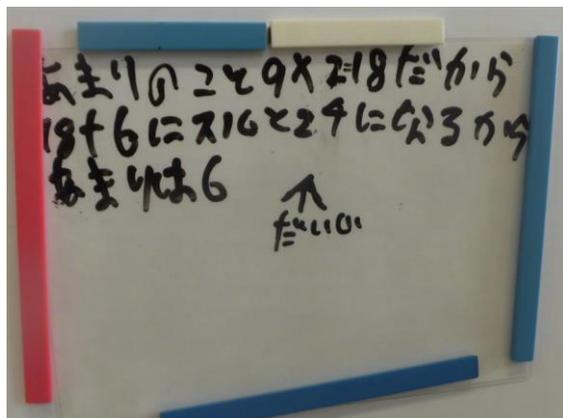
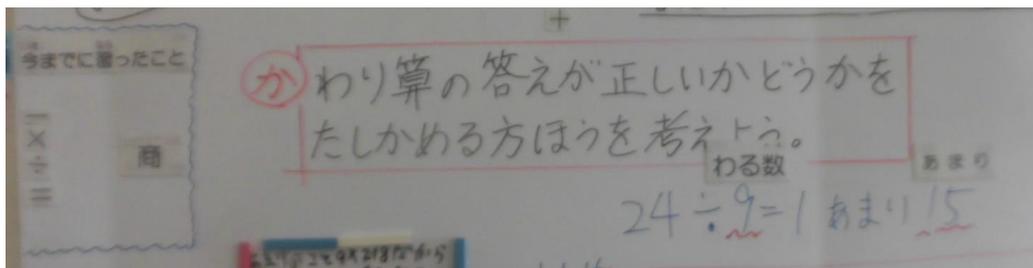
算数科（Step up学級3年）

例Ⅰ：既習事項を活かした学習。



3年生：あまりのあるわり算

- ・あまりのあるわり算の考え方やその確かめ方（確かめ算）を学ぶ単元。
- ・導入で既習事項を抑え、具体物等を操作しながら課題解決へ取り組む。

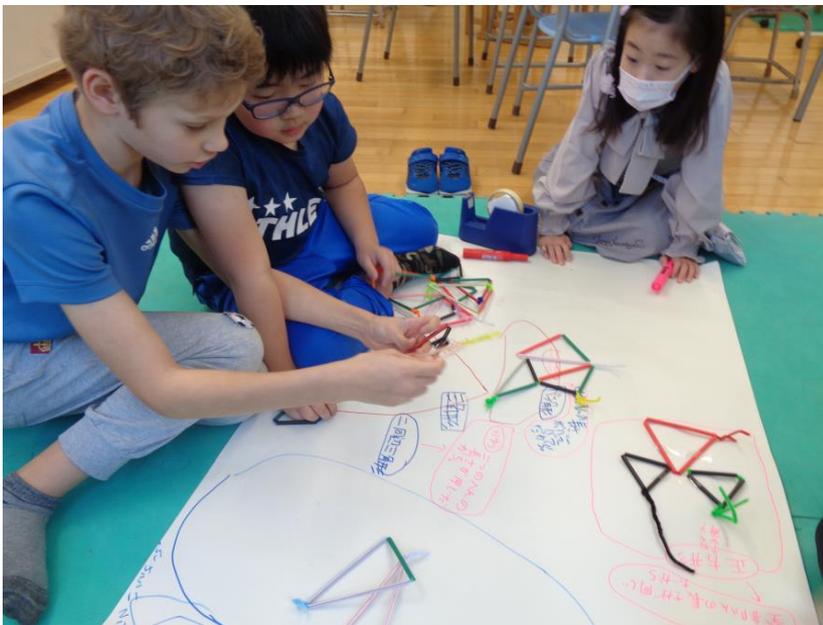


〈授業のポイント、留意点など〉

- ・ 反復学習をさせながら、まずは既習内容をしっかりと抑えさせることが大事。
- ・ ホワイトボードや具体物、図など、アイテムが用意されていると児童の意欲が高くなる。

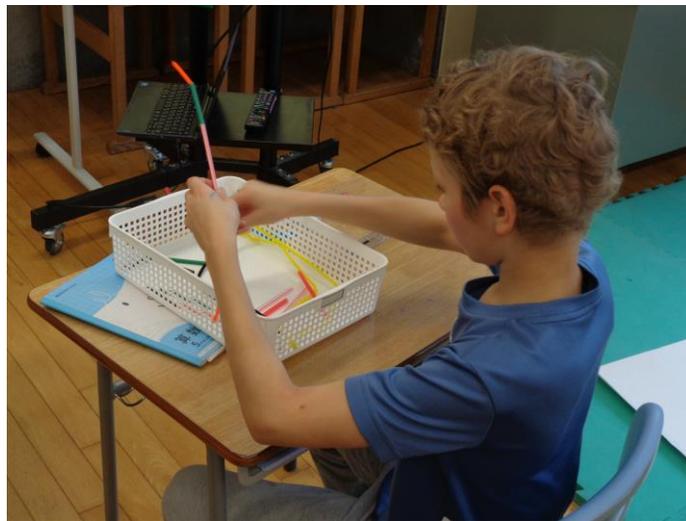
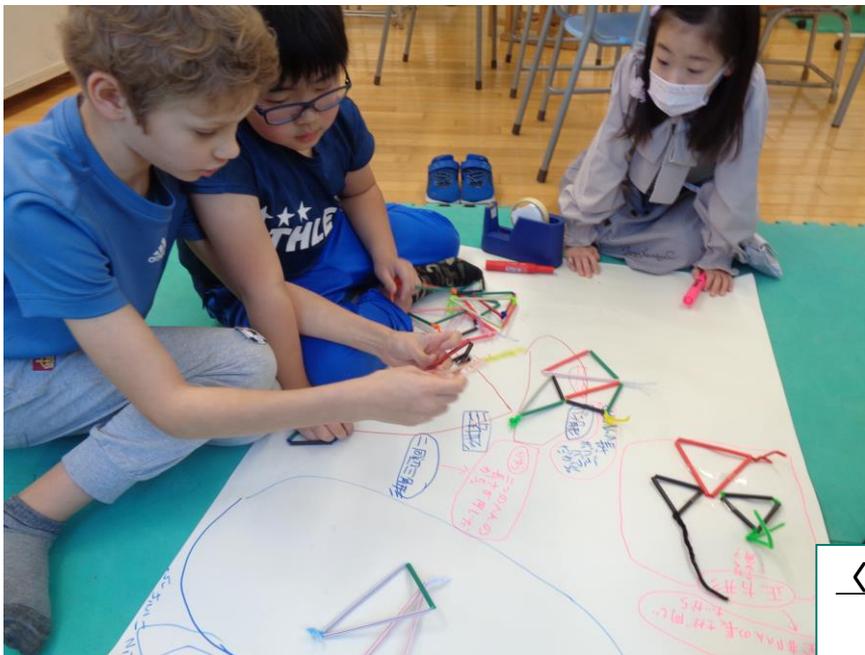
算数科（カモカモ学級3年）

例2：具体物を操作しながら課題解決をする学習。



3年生：三角形を調べよう

- 二等辺三角形や正三角形の性質を調べたり作図の仕方を学ぶ単元。
- 自分たちで作った様々な種類の三角形を辺の長さに注目して仲間分けをすることで、それぞれの性質に気付く学習。



〈授業のポイント、留意点など〉

- ・ 具体物があることで学習への意欲が増す。量感をとらえることが苦手な児童も性質に気付くことができる。
- ・ 学びの時間を保障するため、導入の整理が必要。
- ・ 個人の意見だけで話を進めてしまう場合などには、言葉掛けが必要。

アンケートより 考察

各学年の 目指す姿

来年度の研究

研究計画

1年次 研究の導入期

重点 ・ Plan (計画) ・ Do (実行)



子ども自身が計画を立てたり見通しをもったりする手立てのうち、自ら進んで実行する主体性を育む。

2年次 研究の充実期

重点 ・ Check (評価)



子ども自身が自己評価をし、ふり返りの視点をもって自分の考えを広げ深める力を養う。

来年度の研究スケジュール

大きな変更点

- ①公開研は、各ブロック（低、中、高、特）から一学級の公開。
- ②全校研は一つの授業を全員で参観。年3回実施。
- ③研修日を20回→14回に削減。

※詳しくは別紙資料にて

来年度の研究スケジュール案

	一学期		二学期		三学期
取組	提案授業	全校研①	全校研②	公開研究会	全校研③
通常学級	研究部より 1クラス公開	高学年1クラス公開	中学年1クラス公開	各ブロッククラス 公開 ※支援学級全体から 一クラス公開	低学年1クラス公開
特別支援 学級		カモカモ学級1クラス 公開	ほのぼの学級公開 (実態に応じ隔年公開 など検討)		ステップアップ学級 1クラス公開

研修日スケジュール案

月	4月	5月	6、7月		8、9月		10月		11月	12月	1月		3月	※時期未定
回	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
内容	年度初め 提案	提案授業 & 事後研	指導案検 討or授業 記録交流	全校研1 & 事後研	指導案検 討or授業 記録交流	全校研2 & 事後研	公開研 指導案 検討1	公開研 指導案 検討2	公開研 前日準備	公開研 振り返り	指導案検 討&授業 記録交流	全校研3 & 事後研	年度最終 総括	※実技or 外部講師

※詳しくは別紙資料にて

研修教科・領域

1年目…学力を保障

通常学級 → 国語・算数・理科・社会（4教科）

支援学級 → 自立活動・生活単元学習
交流学級で学習するときの支援案
個別学習での教科指導

2年目…各教科※予定

